

とよなか 景観特集 まちづくり 手帖

平成31年(2019年)
3月発行
第7号



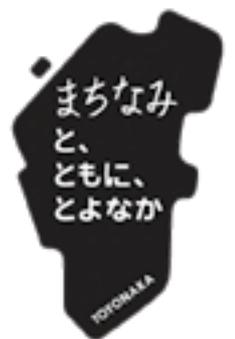
この特集では、
景観まちづくりの情報を
お届けします!!

とよなか百景より「ふれあい緑地界隈」

INDEX

- それゆけ!とよなか百景探検隊!!～西部・南部編～ ————— 1・2P
- 景観まちづくりのルールを検討しませんか? ————— 3・4P
～都市景観形成推進地区制度のご紹介～
- 景観まちづくり掲示板 ————— 5・6P
- こども向けの“とよなか景観学習”を実施しています! ————— 7P

(回覧)



とよなか百景探検隊!!

市民のみなさんから募集した市内の魅力的な景観を集めた「とよなか百景」は、昨年3月に17年ぶりにリニューアルしました。このコーナーでは、マチカネくんが豊中市内に飛び出して「とよなか百景」を探検します。

こんにちワニ〜。今回は「とよなか百景」の中から西部・南部地域にある11スポットを探検するワニ!!
どんどころがあるのかな?楽しみワニ〜♪

〜西部・南部編〜

1 スカイランドHARADA (阪急バス「クリーンランド前」下車、北へ約750m)



飛行機がすごく近くで見られるワニ!!
ここは原田下水処理場の屋上にあつて、芝生広場やせせらぎ広場、多目的運動広場もあるワニ。



ベストショットを狙ってカメラでパシャリ!

2 春日神社(利倉) (阪急バス「原田中一丁目」下車、南へ約600m)

利倉にある春日神社はみどりがいっぱい!豊かなみどりは市の保護樹林に指定されているワニ。
その昔、モチとニレが上部でつながっていた珍しい縁結びの木があることで今も親しまれているよ。



3 猪名川とセイヨウカラシナ (阪急バス「利倉西」下車、北へ約800m)



猪名川が間近に見られるワニ。
春になったら河原一面がセイヨウカラシナの黄色で覆われるんだつて。
今度は春に来てみたいワニ♪



春の猪名川

4 ふれあい緑地界隈 (阪急「服部天神」駅下車、西へ約800m)

緑地内には屋内水泳場や遊戯広場、バラ園、ピオトープなどがあつて、すごく広いんだよ。



ひゃー!滑り台が長いワニ〜!

5 利倉西遊歩道の桜並木と旧猪名川自然歩道 (阪急バス「利倉西」下車すぐ)



利倉西には、自然散策歩道があるんだよ。旧猪名川の堤防を利用して整備されたんだつて。お散歩すると気持ちいいワニ♪
四季折々の樹木があつて、春には桜のトンネルになるんだよ。



春の遊歩道

6 新豊島川 (阪急バス「上津島」今在家町下車すぐ)



水辺の散策は気持ちいいワニ〜。ここは豊能南部排水路を改修してできたんだつて。
みんなの散策コースとして親しまれていて、毎年「蛍の夕べ」が開催されているよ。

ボクも蛍が見たいワニ♪

7 大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス (阪急「庄内」駅下車、北西へ約700m)



西洋の宮殿みたいな雰囲気ワニ。ここには客席数756席の本格的なオペラハウスがあるんだよ。
北側の道路は「オペラ通り」っていう愛称で親しまれているワニ♪



9 棕橋総社(庄本町) (阪急バス「庄本」下車、西へ約250m)



入口には鯉さんがいっぱい泳いでいるワニ!

奈良時代に、行基が猪名川に橋を架けると、多くの鯉に助けられたという「鯉伝説」があるんだつて。ふむふむ。



10 旧猪名川堤防緑道帯 (阪急バス「庄本」下車、西へ約300m)



この緑道帯は3市2町にまたがる豊能自然歩道の一つで「猪名川堤防コース」になっているワニ。ウォーキングしてる人も多いんだよ。ここも春には桜並木が満開になるんだつて。



春の緑道帯

11 神崎川とグリーンスポーツセンター (阪急「神崎川」駅下車、西へ約900m)

神崎川の河川敷には遊歩道が続いているよ。夕暮れ時は憩いの散策コースになっているワニ。
川沿いのグリーンスポーツセンターでは、昨年の6月に屋根付きのテニスコートがオープンしたよ。



ボクもテニスしたいワニ♪



豊中市内の魅力的な景観を集めた冊子「とよなか百景」は、未来に引き継ぎたい景観を「響きあう景観」「潤いあふれる景観」「趣のある景観」「心ふれあう景観」の4つのカテゴリーに分けて掲載しています。

ホームページはこちら



地図情報とよなかは



「とよなか百景」は都市計画課や各出張所など公共施設で配布している冊子や、市ホームページ、地図情報とよなかで紹介しているワニ。



景観まちづくりのルールを検討しませんか？

～都市景観形成推進地区のご紹介～

豊中市では、住民のみなさんが主体となって自分たちのまちについて考え、守るべきルールを策定する地区が増えています。ルールにはいくつかの種類があり、定めることができる項目や運用主体、ルールの強制力などそれぞれの特徴があります。そのうち土地利用に関しては「地区計画」制度がありますが、今回は「景観」に関する制度の「都市景観形成推進地区」についてご紹介します。

都市景観形成推進地区とは？

景観法および豊中市都市景観条例にもとづく制度で、建築物等の色彩や形態などの都市景観に関する基準（景観形成基準）（※1）を地域の実情に応じ、権利者（土地・建物所有者）が自分たちで話し合いながら決めていくことができる制度です。色彩等の制限を定めることにより、これまで培われてきた良好な景観が形成されている住宅地の継承や、調和のとれたまちなみの形成を目指すことができます。

どんな制度なの？

建物の色彩や形態など、景観のルールを土地・建物所有者の多数の賛同による住民からの申し出に基づいて、豊中市が「都市景観形成推進地区」として景観計画に定めます。

どんなルールを決められるの？

建築物や工作物の形態や色など、良好な景観形成に必要なルールなどがあります。

ルールを決めたらどうなるの？

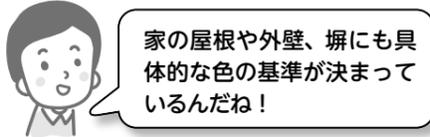
市への届出が必要な行為（※2）を都市景観条例に定めることで、建築確認申請の前に市に届出が必要になります。ルールに合わない場合は、勧告や変更命令の対象になります。



事例紹介 永楽荘地区（永楽荘3丁目、4丁目）の場合

永楽荘地区は市の北部に位置しており、昭和初期に住宅地として開発され、桜並木に彩られた緑豊かで閑静な戸建住宅地です。平成27年（2015年）1月に都市景観形成推進地区の素案が市に申し出され、同年10月に地区の指定を行いました。

区域図



都市景観形成推進地区に指定すると、調和したまちなみが守られるんだね！

永楽荘地区で定めたルール

行為の制限（景観形成基準）の内容（※1）

- 屋根** ・周囲の建物等と形態や色彩、素材等を調和させる。
 ・屋根の基調色はマンセル値を次のとおりとする。
 （有彩色）R,YR,Y,GY,G,BG,B,PB,P,RP
 明度 6 以下、彩度 6 以下
 （無彩色）N 明度 7 以下
- 外壁、塀** ・周囲の建物等と壁面線や高さ、色彩、素材等を調和させる。
 ・外壁、塀の基調色はマンセル値を次のとおりとする。
 （有彩色）1R～5R 明度 4 以上 9.5 以下 彩度 4 以下
 6R～5Y 明度 4 以上 9.5 以下 彩度 6 以下
 6Y～10Y 明度 4 以上 9.5 以下 彩度 4 以下
 GY,G,BG,B,PB,P,RP 明度 4 以上 9.5 以下 彩度 2 以下
 （無彩色）N 明度 4 以上 9.5 以下

マンセル値とは、色を3つの属性（色相・明度・彩度）に分けて数値表現したものです。

市への届出対象となる行為（※2）

- ・建築物の新築、増築、改築、移転、大規模の修繕・模様替または外観の色彩の過半の変更
- ・工作物の新設、増築、改築、移転、または外観の色彩の過半の変更
- ・1,000㎡以上の規模の開発行為

家を新築したり増築する場合でも、市への届出が必要なんだね！

市内には、永楽荘地区のほか、3地区が都市景観形成推進地区に指定されています。

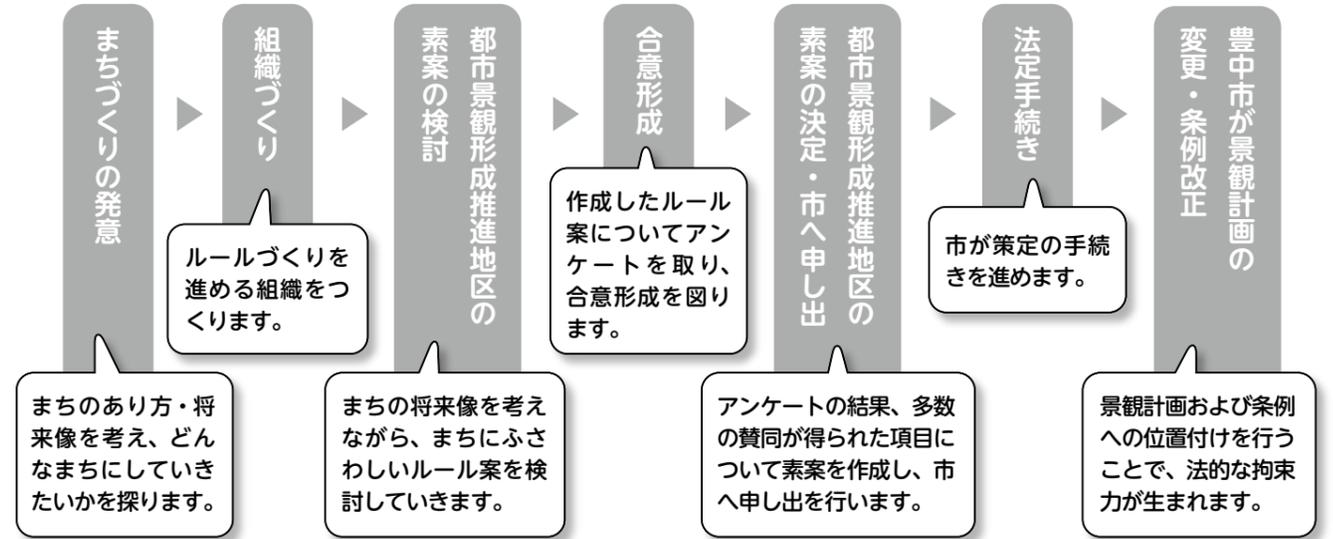


新千里南町2丁目地区(①) 新千里北住宅地区(②) 新千里南住宅地区(③)



都市景観形成推進地区策定までのステップとさまざまな支援制度

豊中市では景観形成に係るルール策定に対して、さまざまな支援制度を用意しています。みなさんの地域でも支援制度を活用して、都市景観形成推進地区制度を検討してみませんか？



- 出前講座
- まちづくり講座
- コンサルタント派遣（相談業務派遣）
- 活動費助成
- コンサルタント派遣（計画業務派遣）

- 出前講座 市職員が地域に出向きルールの概要や事例などをお伝えします。
- まちづくり講座 市がまちづくりの専門家を派遣し、まちづくりに関する情報や技術・他地区の事例を詳しくお伝えします。 ※費用は市が負担します。（会場の用意は地域にて実施）
- コンサルタント派遣 コンサルタントを地域に派遣します。専門の知識を持ったコンサルタントがルール策定の具体的な内容の検討・合意形成の支援を行います。 ※派遣回数は1年間で15回まで ※費用は市が負担します。（会場の用意は地域にて実施）
- 活動費助成 ルールづくりに必要な活動費の3/4を市が助成します。 ※5年以内で年15万円まで



景観まちづくりについて少しでも興味を持たれた方はお気軽に都市計画課 景観形成係 までお問い合わせください

TEL: 06-6858-3143 まで

まちづくりルールや支援制度についてより詳しく説明している冊子「まちづくり活動ハンドブック」もあります。

市のホームページでもご覧いただけます。



中学生・高校生が描いたイラストを掲載！

『発見！とよなか景観スケッチブック』・『とよなか景観まちあるきブック』を作成しました

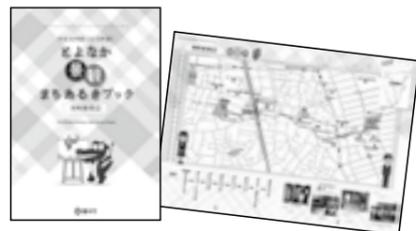
NPO 法人とよなか・歴史と文化の会（曾根西町）の方にまち案内人としてお越しいただき、豊中市立第一中学校（曾根西町）美術部の生徒のみなさんと第一中学校区内の景観スポットを、私立梅花高等学校（上野西）美術部の生徒のみなさんと阪急岡町駅周辺の景観スポットをめぐるまち歩きを行い、参加者が見て・感じた景観のスケッチ等を制作しました。

また、これらのスケッチ作品を通じて市民のみなさんに市内の景観スポットを紹介することで、豊中市のまちなみを再発見する機会や、世代を超えて子どもから大人まで景観に親しみ、共感の輪を広げていただくことを目的に、冊子を作成しました。ぜひ手に取って、描かれた景観スポットを実際に訪れてみてください。

冊子は都市計画課窓口（市役所第二庁舎4階）で配布しています。
※冊子は数に限りがございます



中学生が描いたイラストを掲載『発見！とよなか景観スケッチブック』



高校生が描いたイラスト等を掲載『とよなか景観まちあるきブック』

～まち歩きの様子～

中学生まち歩き

平成30年(2018年)7月31日(火)実施
【場所】豊中市立第一中学校区
【参加】豊中市立第一中学校 美術部



景観
スポット

第一中学校・・・法華寺・・・春日神社(利倉)・・・新豊島川・・・千里川土手・・・
九名井水路・・・原田城跡(旧羽室家住宅)・・・曾根駅前

高校生まち歩き

平成30年(2018年)7月21日(土)実施
【場所】岡町駅周辺
【参加】私立梅花高等学校 美術部



景観
スポット

岡町駅(西口広場)・・・大石塚・小石塚古墳・・・伝統芸能館・・・岡町商店街・・・
原田神社・・・桜塚公園・・・大塚・御獅子塚古墳・・・奥野家住宅

NPO 法人 とよなか・歴史と文化の会

市の委託を受け、「原田しろあと館（原田城跡・旧羽室家住宅）」の保存と活用に取り組んでいます。

また、市内の遺跡や文化財のガイドを通じて「わがまち豊中」の再発見と魅力の発信を行い、歴史と文化の側面からまちづくりに貢献されているボランティア団体です。

NPO 法人 とよなか・歴史と文化の会へのお問合せ
TEL：06-6841-3725（土・日 12時～16時）



景観
スポット
再発見

豊中かいわいをスケッチしよう講座と豊中かいわいスケッチ展を開催しました！

豊中市内には、身近に親しまれる景観スポットが多くあります。その景観スポットを広く市民の方々に周知・PR するため、スケッチ講座とスケッチ展を通じて、とよなかの景観スポットを再発見するイベントを千里公民館と都市計画課の共催で毎年開催しています。

今年度は、平成30年(2018年)10月12日～11月2日までの毎週金曜日に「スケッチ講座」を行い、11月26日(月)から29日(木)まで「スケッチ展」を開催しました。

今年度で7回目の開催となる人気のイベントとなっています。

豊中かいわいをスケッチしよう講座(全4回)

豊中市内の素敵な景観をスケッチする市民講座です。初心者の方もスケッチの基礎から体験できるよう講師をお招きしていますので、気軽に参加していただけます。

また、今年度の景観スポットは「とよなか百景」より4箇所をピックアップし、例年通り全4回の講座を行いました。



【講師】米田 整弘さん 二科会会員

第1回



千里東町公園(新千里東町 10月12日)

第2回



大阪国際空港(蛍池西町 10月19日)

第3回



千里アートロード(新千里西町 10月26日)

第4回



羽鷹池公園(少路 11月2日)

各回とも講座の最後に、講師による講評が行われました。受講生のみなさんはお互いの作品を鑑賞し、色使いなどの工夫やスケッチの楽しさについて語ってられました。



天候に恵まれた4回の講座でした。受講生のみなさんは、各自好みのスケッチポイントを探し、スケッチを行いました。悩みながら講師のアドバイスを受ける方やさらさらと筆を進める方など、みなさん最後まで熱心にスケッチをされていました。

豊中かいわいスケッチ展



「豊中かいわいをスケッチしよう講座」に参加した受講生のみなさんの力作を、豊中市役所第二庁舎1階市民ロビーにて11月26日(月)から29日(木)まで展示しました。

寒い中、4日間でのべ455名の方にご来場いただき、作品を通じて、豊中の景観スポットの魅力を紹介しました。

来場者の方からは、スケッチ講座やスケッチ作品、景観スポットの質問やご要望など多くのご意見を伺うことができました。



来年度の開催については、決まり次第「広報とよなか」や市ホームページなどでご案内します。

市のホームページでもご覧いただけます。



住んでるまちがもっと楽しくなる♪

小学校
3・4年生
対象

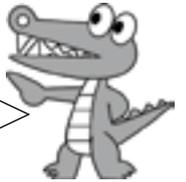
こども向けの“とよなか景観学習”を 実施しています!

豊中市では平成27年度(2015年度)よりこどもたちを対象に、楽しく景観について知ったり、学んだり、遊んだりしながら、身近な景観に触れるきっかけとして活用できる冊子「とよなか・景観学習帳」を使って「とよなか景観学習」を実施しています。

ゲーム感覚で楽しみながら、こどもたちが持つ好奇心や感受性をより豊かにし、景観について学んでもらい、ふだん何げなく暮らすまちや景観への興味・関心を高めてもらう学習プログラムです。

また、小学校3・4年生を対象としていますが、きょうだいや保護者の方も一緒に考え取り組める内容で、大人でもこどもの目線を体験しながら学習できるような内容となっています。

小学校1年生から保護者まで多くの方が体験しているワニ!



「とよなか・景観学習帳」の内容

「景観」ってなんだろう?

目に見える景色、風景のことです。山や川、池などの自然の眺めだけでなく、人がつくった家やビル、道の眺めも「景観」です。身近な例を使って「景観」という言葉を知ってもらいます。

まちなみの「色」を学ぶ

まちの中で「合う色」「合わない色」を学ぶために、クイズ形式で「色」について紹介します。こどもたちもクイズに答えながら、場所や使い方で色がさまざまな役割をはたすことを学びます。

まちの「色」を見つけよう

実際に「お店のあるまち」と「家のあるまち」の2つのまちを歩いて、「色」について調べます。見つけた色は学習帳の色チェックシートを使って調べたものの名前と見つけた色を線で結びます。

みんなで2つのまちなみをつくってみよう

見つけてきた色を使って「にぎやかで行ってみたいまちなみ」と「静かで住んでみたいまちなみ」の2つを色えんぴつで付録(紙製の家とお店の模型)に色を塗っていき、それぞれのまちに調和する色を学びます。

「景観学習」の様子



スライドを使って「景観」という言葉があることを知ってもらいます。

クイズに答えながら色は「景観」においてとても大切なことを知ってもらいます。



実際にまちの中を歩き、見つけた色をチェックシートに書き込みます。

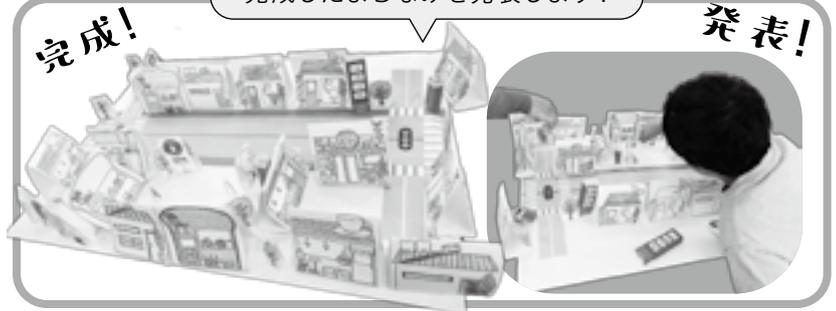
まちで調べたことを参考にしながら、自分たちでまちなみを作ります。



完成したまちなみを発表します!

完成!

発表!



募集中! “とよなか景観学習”をしてみませんか?

“とよなか景観学習”を希望される市内の小学校・地域子ども教室などを募集しています!

●過去の実施団体●

- 南桜塚小学校地域子ども教室(2015年度)
- 中豊島小学校地域子ども教室(2016年度)
- 上野小学校地域子ども教室(2017年度)

申込み
問合せ

豊中市役所 都市計画課 景観形成係
TEL:06-6858-3143 第二庁舎4階
景観学習の内容などはこちらからご覧いただけます▶

